

信州フォレストワーク通信

春日山公園にピザ窯小屋を建てました

旧岩草分校のすぐ上に北アルプスを一望できる春日山公園があり、そこに小川村から引っ越したピザ窯を移設し、そのための小屋を建てることにしました。

4月4日(火)、岩草の滝澤さんに立ち合って頂き、まずはピザ窯小屋の設置場所を決めます。沓石を4つ並べるのですが、水平を取るのに苦戦したり、正確な長方形にならなかつたりと、試行錯誤してようやく土台が設置出来ました。その後岩草分校に戻り緻密な設計図に基づいて材を切断しました。材料は森もり館の廃材をリユースしています。

作業二日目はピザ窯を載せる沓石の設置から始めました。前回の反省を活かして手際よく進めることが出来ました。そして早くも組立て完了です。

三日目の4月8日(土)は9名が集まり、防腐塗装班、ピザ窯組立班に分かれて手際よく進め、午前中に完成です。そして火入れ。まずは試食です。2時間近く薪を燃やし続け、十分熱くなった窯にピザを投入するとわずか1分ほどで焼き上がります。全部で5枚焼いて、メンバーは大満足！ご馳走様でした。

5月21日(日)は、岩草区の皆さんによる旧岩草分校と春日山公園の草刈りがあり、SFWメンバー8名も参加しました。そしてピザ窯小屋のお披露目を兼ねて、作業後にピザを食べて頂きました。沢山の人が集まっていたので、20枚は焼いたでしょうか。焼きたてのピザをほお張り、皆さんご満足された様子でした。岩草区の皆さんには何かとお世話になることがあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

このピザ窯は、こうした地域活動で利用する他、生活協同組合コープながの様との「森林(もり)の里親促進事業」でも活用していく予定です。



三日間で完成です



岩草区の皆さんにお披露目



焼きたてのピザをどうぞ

春日山公園にピザ窯小屋

..... 1

4-6月活動から

..... 2

コープながの様と里親契約

..... 3

岩草善所森づくり活動

..... 4

SFW 通信にご意見・ご感想を下さい。また SFW の活動に限らず趣味や日常のちょっとしたことなど、ご投稿を頂けるととても嬉しいです。

また、メルマガ(メーリングリスト)のアドレスは

sfw-mail@sfw.or.jp です。

皆さんからの情報を送ってください。登録者全員に配信されます。

4月～6月の活動から

●長野市立昭和小学校の学校林活動(5月16日)

昭和小学校の学校林は、茶臼山トレッキングコースの中間地点にある「一本松」に隣接したところにあります。この日は昭和小学校 5年生約 100 名が、学校からここまで歩いてやって来ました。大人の足で2時間ほどかかるでしょうか。前日の雨で足元が悪い中、よく頑張って登って来ました。そして SFW のメンバー5 名が生徒たちを迎い入れ、森の学びとクラフト体験をしてもらいました。



ノコギリに苦戦、でも頑張る！

午前中はヒノキの伐倒デモで、安全第一にロープを使って倒しま

す。木が倒れる時の迫力に生徒たちから歓声が上がりました。午後はその倒したヒノキを使ってクラフト体験です。ヒノキの枝をナイフで削ってストラップを作ったり、ノコギリでコースターを作ったりしました。ノコギリは5年生には簡単ではなかったようで、「腕が痛い～」と思わず愚痴がこぼれますが、切り終えた時にはヒノキの断面を鼻に近づけて「いい匂い！」と嬉しそうな笑顔が見られました。



新緑の学校林

この日は春ゼミが鳴いていました。別名田植えゼミとも言うそうです。そんな春ゼミの声を聴きながら終わりの会をして、生徒たちは帰路につきます。私たちが後片付けをしていると、「キャー」と言う子供たちの声が森に何度も響き渡りました。ぬかるんだ下りの登山道で滑ったのでしょうか。怪我しないようにね。

昭和小学校は150年ほどの歴史のある小学校で、元々は学校で使う燃料用に管理されてきた林にヒノキを植林した学校林と思われませんが、時代が変わってもいつまでも大切にしていきたいですね。

●グリーンウッドワークの活動報告

障害児の子育て支援に取り組むバリアフリースタイル ルルカ主催のマルシェイベントとCO2バンク推進機構主催のゼロカーボン長野プログラムの参加し、グリーンウッドワークのワークショップを開きました。

マルシェは次のような日程で開催されました。

3月11日 バリフリマルシェ in 安曇野、4月29日 リスパ de こどもまつり

5月13,14 バリフリマルシェ in 諏訪、6月6日 リスパルシェ

始めはバターナイフから。回を重ねる度におさかな・お花・キノコとメニューが増え、難易度レベルを設定することで作品を時間内に完成してお持ち帰りいただけるようになりました。普段ナイフなど使ったことのないお子様のナイフワークの場面では、いつの間にか保護者の方が交代し、黙々と作業する場面もしばしば。賑やかなイベントになりました。



「おさかな」の出来上がり♪



「おさかな」、「お花」などのメニューを用意

5月28日のゼロカーボン長野プログラムは、「緑と花のフェスティバル in 長野『公園であそぼっ たのしもう！』」をテーマに、新しくなった城山公園にのべ6,000人ほど集まった初の屋外大規模イベント。告知から楽しみにしておられた方、ご自身のナイフを持ってこられた方、ふたつのメニューを受けられる熱心な方もおられ、作品づくり

以外にもイベントテーマに沿ったお話などを伺うことができました。そして私たちのワークショップには今までの3倍ほどのお客様が来られ、老若男女笑顔いっぱいの楽しいイベントとなりました。(滝澤由紀)

●ぼくらの裏山プロジェクト(6月17日)

長野市立松ヶ丘小学校の「ぼくらの裏山プロジェクト」活動は2002年から始まり、SFWとしても思い入れの深い活動のひとつです。この日は低学年を中心に17名の生徒と保護者が参加してくれました。梅雨の晴れ間、素晴らしい天気恵まれました。

始まりの会の後、まず学校に隣接している「真當沖古墳群」^{まとうおき}を探検してから裏山の展望台まで登り、その後ツル切りなど裏山の整備を行い、除伐で出た木を利用して名札づくりをしました。短い時間の



展望台にて



だいぶ傷んできたツリーハウス

中で盛り沢山だったね。楽しかったかな。最後にウグイスのきれいな鳴き声を聞きながら終わりの会を行いました。

裏プロ終了後、杉杉広場のツリーハウスがかなり傷んでいるので、これについてどうするべきか、話し合いました。そして秋ごろに解体して、来春新しく建て替えようということになりました。今まで以上に子供たちが喜んで遊べるようなツリーハウスを造りたいと思います。どんなツリーハウスにするか、楽しみながらやっていきましょう。

●長野市立豊野東小学校、同豊野西小学校高原学校(6月28日)

豊野東小学校22名、豊野西小学校58名のクラフト教室を行いました。梅雨の真っ最中で、天気予報もコロコロ変わり先生もどうするか迷っていましたが、当日朝5時半に、クラフト依頼の連絡がありました。今シーズン初日のクラフト教室であり、クラフトに使う原木や道具は事前に準備しておりましたが、作業台などもあり丸尾さんや滝澤さんに分担して運んでもらいました。皆さんの協力があったからこそ準備も整い、学校の急な注文にも対応できました。1時間半ほどですがみんな集中して作品作りができて楽しかったという感想もたくさん聞かれました。



体育館でのクラフト教室

豊野小学校の高原学校の方針として①楽しむ②仲良くする(協力する)③考える(工夫する)とありますが、SFWのクラフト活動にピッタリです。(中島正博)

生活協同組合コープながの様との里親契約更新について

6月26日(月)に旧岩草分校において、コープながの様、長野地域振興局様、SFWの3者で、長野県「森林(もり)の里親促進事業」の里親契約の更新について打ち合わせをしました。これまでは小川村を活動拠点にしていましたが、今年度から長野市七二会に移し、岩草の皆さんの協力を得ながら整備事業を進めていきます。

当日は契約内容の確認、調印式及びイベントの日程などについて話し合った後、活動フィールドとなる春日山公園へ行き、ここで



打ち合わせの様子

んな内容のイベントが出来そうか、検討して頂きました。あいにくの曇り空でしたが、北アルプスの鳥瞰図を見ながら晴れた日の絶景を想像して皆さん感動された様子でした。除伐や桜の間伐を行い、これを使ってピザを焼いたり、燻製を作ったりなどいろいろと素案が出て来ました。契約締結は7月中に、調印式及びコープながの組合員参加のイベントは11月上旬を予定しています。



春日山公園で現地確認

岩草善所森づくり活動の経過報告

企業様のCSR活動の一環として、現在準備中の「ぜんどこの森」について経過報告します。

構想としては、右図のように整備を進めると共に、企業関係者や一般市民参加型の里山講座(森づくり体験)、森カフェ(ゆると森を楽しむ機会の提供)を計画しています。

今後は、企業、緑の募金関係者、地主様と各合意文書の取り交わしを行った後、事業を正式に開始します。

まずは下刈りや除伐(つる切り)など基本的な整備作業が必要ですので、多くの参加をお願いします。

「ぜんどこの森」づくりは10年後、20年後を見据えた活動になります。まだまだ柔らかい段階ですので、是非とも「こうしてはどうか」など多くのご意見を頂きたいと思えます。



須坂市にある米子大瀑布は、2019年の台風19号災害で長い間通行止めでしたが、先日ようやく復旧したので散策を楽しんできました。久しぶりに見る滝と新緑の景観に感動しつつ、一方で台風19号災害の大きさを改めて感じました。そして今年は桜の開花が記録的に早く、その後の冷え込みで農作物の凍霜害が心配されました。うちの畑に3年目になる梨があるのですが、凍霜害で全く結実出来ず、がっかり！さらに6月には早くも台風がふたつ日本列島に近づき、大雨による洪水が各地を襲いました。今後大きな災害が起きないことを願うばかりです。このような大きな気候変動に対して、私たちの活動は極めて微力なものだと思うのですが、それでも決して無力ではないと信じています。

(編集子:丸尾幸男)

NPO法人 信州フォレストワーク

〒381-2246 長野市丹波島1-725-5

電話・FAX: 026-285-2573

携帯電話: 090-2658-2044

office@sfw.or.jp

<http://www.sfw.or.jp/>

